

令和元年度  
まちづくり活動  
アシスト事業報告

# 「地域の課題は自分たちで 解決するけん!!」

四国オフサイトミーティング  
2019事務局  
(砥部町役場勤務) 田中 弘樹



はじめに

最近、社会課題等の解決に何か携われたらと考える有志たち(主に公務員)が勤務時間外に集まり、自主的に勉強会を開催する取組みが全国に広がっています。これは、オフサイトミーティングと呼ばれ、四国オフサイトミーティング(四国OM)はまさにこの四国版と言えます。代表は坂出市役所の福田倫丈さんで、8回目の開催となる令和元年度に私は事務局として参加させていただきました。

## まちづくりを考えるイベント

四国OMでは、どんな勉強会をするかは事務局に任されていますので、令和元年5月26日、27日の2日間にわたり、次のようなイベントを開催しました。

### ①まちの財政状況を勉強

人口ビジョンや財務諸表などから、少子高齢化や公共施設の老朽化・更新問題など、まちの現状把握や将来像を勉強します。

### ②ふせん紙仕訳ゲーム

数字が苦手な人でも、楽しく、ただふせん紙を貼り替えるだけで、仕訳か

ら財務諸表ができるまでをまるっと理解して貰えます。

### ③バランスシート探検隊

簡単な財務諸表を片手に公共施設を実際に巡ります。ここで、ふせん紙ゲームの知識が役立ちます。

### ④まちづくりシミュレーションゲーム(SIMULATION2030)

参加者が架空のまちの建設部長や福祉部長になり、どんどん自由に使えるお金が減っていく中、どの公共サービスからあきらめる必要があるか判断していくゲームです(SDGsや主権者教育の要素あり)。



まちづくりシミュレーションゲームをする高校生たち

まちを元気に!高校生サミット

県内 14

校の高校生が、日頃の取組みを発表してくれました。その内容はどれも驚きと感動の連続でした。ちなみに、表



高校生サミット

題の「地域の課題は自分たちで解決するけん!!」という言葉は、サミットの中で彼らから発せられたもので、私の心に強く響いた言葉となりました。

## 終わりに

エビデンスを基にまちの未来をイメージし、公共施設見学では現場も体験。その後、まちづくりゲームを体験することで、これまでの理解がより現実味を帯びた理解へと変わっていきます。厳しい現実を理解したうえで、どんなまちづくりをしていくか一緒に考えていく、そんな面白いイベントとなりました。